

イングリッシュ・サイエンスキャンプ

日 時 平成30年3月10日（土）・11日（日）
場 所 富山中部高校
五感リゾート牛岳ささみね、山田交流促進センター
参加者 1年生30人
指導者 富山大学 助教・大学院生3名
富山中部高校 物理・化学・生物・英語科教諭 ALT 等

3月10日（土）・11日（日）の両日にわたって、1学年30名を対象にイングリッシュ・サイエンスキャンプが行われました。

このキャンプでは、本校 ALT ハナ先生の講演のあと、参加者が物理、化学、生物の3分野に分かれてそれぞれ実験を行い、その後、英語でポスターを作ってそれを発表する、という活動を行いました。



富山大学で研究をしておられる海外出身の先生方の指導や協力を仰ぎながら、3～4人のグループで協力して実験をしました。その後、宿泊施設の牛岳ささみねに移動して、隣接する山田交流促進センターで、実験の考察をしてポスターを作りました。もちろん、考察や質問の時も英語で会話をしなければならず、専門用語が多く飛び交う中、言葉の通じない大変さを感じながらも、懸命に実験に取り組みました。



2日目の発表の際には、英語で発表し、質問にも英語で答えなければならないという厳しい条件の中で、日ごろの英語の授業などで鍛えた英語力を存分に発揮し、素晴らしい発表をしました。



参加者からは、「指導員の方が丁寧に教えて下さり、慣れないながらも楽しく実験することができた。また、話した英語が通じないことも多く、もどかしさを感じたが、日ごろの英語学習に対する意欲が高まった。」、「実験中、発表中などに、文法などを気にする間もなく英語を話さなくてはならない場があり、英語になじむいい機会になった。理系に進む身として、理系の単語を学ぶことができてよかった。」などの感想がありました。



今回の研修で、科学的な思考力、そして英語による自己発信力を大きく伸ばすことができたと思います。また、各生徒が自分の課題を発見する機会もあり、とても実りのある体験となりました。